



# 人材育成セミナー GHG排出削減を 企業価値向上の起爆剤に！

温室効果ガス（GHG）排出量の算定は、削減活動や脱炭素製品・サービスの開発に取り組むための「はじめの一步」です。本セミナーでは、現場ですぐに活用できる実践的なScope1,2,3算定演習を実施します。また、排出量削減の具体的なアクションや企業価値向上への道筋など、経験豊富なコンサルタントがレクチャーします。2日間の講習を通じて、グリーントランスフォーメーション（GX）を全社的な取り組みに拡大できる人材育成を支援します。



お申込みはこちらから→



開催日（2日間、オンライン開催）

2/27 Thu.~2/28 Fri.

3/27 Thu.~3/28 Fri.

※複数人ご参加の場合、ご希望の日程に合わせて、貴社会議室などでの開催にも対応します。

こんな課題をお持ちの企業様におすすめです。

- **Scope1,2の算定**までは自社で対応したいが**何から始めれば良いかわからない**
- 担当部署のみが算定に関わっており、**脱炭素に向けた全社的な取り組みが拡大しにくい**
- GHG排出量の**第三者検証**においてデータ収集や計算の**やり直しを求められる**
- サプライチェーンを通じた**データ収集**やサプライヤーへの**協力依頼に悩んでいる**
- 外部のコンサルへの**委託費用を削減したい**

セミナーで習得できる知識・スキル

- GHG排出量算定や開示、GXが求められる社会的背景の理解
  - Scope1,2,3算定スキルや、算定結果に基づくScope1,2削減の具体的なアクションの検討
  - 受講後に受講証明証を発行。ご希望に応じて試験を実施して、合格者は弊社の資格取得者独自資格として認定します
- ※環境省認定制度「脱炭素アドバイザー アドバンスト」、GXスキル標準（GXSS）の「GXアナリスト」相当のスキル獲得を想定しています

講師



梅原 由美子



清野 貴明



大野 佳

参加費

200,000円/人  
大企業：実質負担8万円/人  
中小企業：実質負担5万円/人  
※助成金活用の場合

支払方法：銀行振込

主催

エビデンスベースの情報・データに基づき、グローバルな視点でお客様の「SX経営」に関するあらゆる課題を解決

Value Frontier株式会社

東京都渋谷区広尾1-8-6 <https://valuefrontier.co.jp/>

TEL：03-5422-9462 E-mail：info@valuefrontier.co.jp



## 講師紹介



### 梅原 由美子 YUMIKO UMEHARA

製造業、流通、サービス業等の幅広い業種に対し、脱炭素・環境経営支援を行う。組織のGHG排出量算定、製品LCAなど環境負荷の定量評価を踏まえた対策・戦略策定支援の他、生物多様性戦略の策定、自治体の脱炭素・再生可能エネルギー導入計画等の支援を実施。20年以上にわたる気候変動、環境経営分野の知識と国内外の多彩な専門ネットワークを活かした支援を実施。

【略歴】新日本空調（株）社外取締役、千代田区地球温暖化配慮行動計画制度（表彰委員）、千代田エコシステム認証委員（委員長）、元環境大臣懇談会メンバー。一般社団法人サステナブル経営推進機構SuMPO環境ラベルプログラム「登録レビューアー/アドバイザーボード委員」



### 大野 佳 KEI OHNO

製造業、流通、サービス業等の業種に対し、サプライチェーンGHG排出量算定支援を実施。再生可能エネルギー調査、クレジット創出支援、製品・サービス・個人のCFP算定支援。サプライチェーンGHG排出量算定講座、一般の方向けにエネルギー講座や脱炭素ライフスタイル講座の開催など、組織のGHG算定に関する脱炭素セミナー講師の実績多数。

【略歴】在学中はエネルギー経済モデルの開発と研究を行う。NPO法人環境エネルギー政策研究所、公益財団法人地球環境産業技術研究機構でインターン。卒業後、制御・計測機器メーカーを経て、現在、Value Frontier（株）のコンサルタント。エネルギー管理士（熱）。



### 清野 貴明 TAKAAKI SEINO

企業価値向上を目的とした財務・非財務情報開示のコンサルティング業務に従事したのち、現在は主に環境経営コンサルティング業務に従事し、TCFDの戦略策定、CDP回答支援、組織のGHG算定に関する脱炭素セミナー講師の実績多数。脱炭素と通じた企業価値向上支援を実施。

【略歴】家電系業界新聞、IT系Webマガジン、医学系出版社の編集を経て、近年は統合報告書やサステナビリティレポートの企画提案、制作進行を担当。

## カリキュラム

### 1日目（7.5時間程度）9:00～17:30（12:30～13:00 お昼休憩）

|                   |   |       |
|-------------------|---|-------|
| 1. GXの現在地と展望      | 弊社取締役によるGXの現在地と展望－弊社事例より－   | 1時間   |
| 2. 気候変動の科学と対策の意義  | 地球温暖化が起きている理由、気候変動による経済的な損失、想定される企業活動へのリスク、企業の優良対策事例                                | 1時間   |
| 3. 国内外の社会動向       | COP（締約国会議）の概要と直近のトピック、国内外の政策動向、炭素税・排出量取引の動向、国内の状況、ESG投資の動向、TCFD、SBT、IFRS S1,S2などの説明 | 1.5時間 |
| 4. 組織のGHG排出量算定の基礎 | GHGプロトコルイニシアチブの概要と目的、GHGプロトコル、Scope1,2の詳細と3の概要                                      | 1.5時間 |
| 5. Scope1,2算定演習   | 算定の目的、算定範囲、データ収集方法、算定ツールへの入力、原単位の調べ方など基本の演習   | 2.5時間 |

### 2日目（7.5時間程度）9:00～17:30（12:30～13:00 お昼休憩）

|                    |  |       |
|--------------------|--|-------|
| 1. 1日目の振り返り        | 1日目で学んだ内容の確認、質疑応答など                                    | 1時間   |
| 2. ScopeSocketの演習  | Scope Socketの考え方とScopeSocketを利用した算定の演習                 | 1時間   |
| 3. Scope3算定演習      | 自社のサプライチェーン排出量の把握を目的とした工場と本社を想定した算定演習                  | 2.5時間 |
| 4. 情報開示と目標設定       | 国内外の開示動向、第三者検証、指標と目標設定                                 | 0.5時間 |
| 5. 削減対策の検討・実施      | 具体的なScope1,2削減対策事例と費用対効果、カーボン・オフセット、事例                 | 0.5時間 |
| 6. 製品や企業価値向上に向けた取組 | 製品とサービスのライフサイクル排出量、環境ラベル、クレジット、削減貢献量の概要、国内外の先進事例など     | 0.5時間 |
| 7. 全体の振り返り・質疑      | 全体を通じて学んだ内容の確認、質疑応答など                                  | 0.5時間 |
| 8. 試験              | 環境省認定制度「脱炭素アドバイザー アドバンスト」を想定した試験を実施、合格者には後日弊社独自の認定証を送付 | 1時間   |

※カリキュラムの内容は、開催日までに微調整される場合があります。

※上記の時間は目安です。質問対応など講義の進行状況により時間が前後する可能性があります。

# 助成金をご活用ください！



## 人材開発支援助成金

事業展開等リスクリング支援コースを活用すると、

参加費の**75%\***と1時間あたり**960円\***が助成されます。

**15万円**（20万円×75%） + **1万4,400円**（960円×15） = **16万4,400円**

※中小企業以外の助成率は、参加費の60%と1時間あたり480円です。

人材開発支援助成金（事業展開等リスクリング支援コース）は、令和4年～8年度の期間限定の助成金として創設され、新規事業の立ち上げなどの事業展開に伴い、事業主が雇用する労働者に対して新たな分野で必要となる知識及び技能を習得させるための訓練を計画に沿って実施した場合等に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。

パンフレットURL：<https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001245344.pdf>

詳細はこちら



## 支給対象となる労働者（一部抜粋）

- ・助成金を受けようとする事業所が実施する訓練等を受講させる事業主の事業所において、**雇用保険被保険者**であること。
- ・**訓練実施期間中**において、**雇用保険被保険者**であること。

## 申請の流れ

### 1.職業訓練実施計画届の提出

訓練開始日から起算して**1か月前**までに「職業訓練実施計画届」と必要書類を各都道府県労働局へ提出する。

### 2.訓練を実施

本セミナーを受講する。

### 3.支給申請書の提出

訓練終了日の翌日から起算して**2か月以内**に「支給申請書」と必要な書類を労働局に提出する。

### 4.助成金の支給決定

労働局が支給審査の上、支給・不支給を決定

## 提携先士業が申請サポートいたします！

完全成功報酬型です。助成金額の20%が成功報酬として発生します。申請サポートをご希望の事業主様は、申込フォームで「助成金申請サポートを希望する」にチェックしてください。

※本案内は、助成金の支給を確約するものではありません。

